

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

平成24年 2月 日

協議会・構成員 熊谷市地域公共交通会議

(構成員は別添名簿のとおり)

事業名	補助対象事業者等	事業概要	①事業実施の適切性	②目標・効果達成状況	③事業の今後の改善点
記載要領	<p>【事業者名及び系統名・航(空)路名・施設名等を記載】</p> <p>※評価は運行系統、離島航(空)路、施設等の別ごとに実施すること</p>	<p>【運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両原価償却費等国庫補助金の交付を受けている場合は、その旨を記載)】</p>	<p>【計画に位置付けられた事業が適切に実施された(されている)かを記載。計画どおり実施されなかった(されていない)場合には、理由等記載】</p> <p>A・B・C 評価</p> <p>記載例①: 計画どおり事業は適切に実施された。</p> <p>記載例②: 災害により運航できない期間があったが、事業は概ね適切に実施された。</p>	<p>【計画に記載した定量的な目標数値と結果を記載する。結果が目標を達成できなかった場合は理由等を分析の上記載】</p> <p>A・B・C 評価</p> <p>記載例①(確保維持事業): ・目標30人/日に対して、15人/日であった。(目標を下回った理由等を併せて記載)</p> <p>記載例②(改善事業): 年間利用者1,000人の利便性の向上が図れた。</p>	<p>【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載(改善点は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載すること)】</p> <p>※ なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨を記載</p>
陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統) 『熊谷市江南地区内フィーダー系統確保維持計画』	<p>【運行事業者】国際十王交通株式会社</p> <p>【系統名】江南地区路線「ほたる号」</p>	<p>【概要】一般乗合旅客自動車運送事業 【運行日】平成23年10月1日運行開始。毎日運行。ただし、1月1日から1月3日まで運休。 【運行時間帯】6:20～20:22 【運行本数】1日6往復 【運行ルート】江南行政センター～熊谷駅南口～江南行政センター～籠原駅南口～江南行政センター 【運行車両】ノンステップバス 1台 ※国庫補助金「車両原価償却費等」あり 【運賃】 (1)1回の運賃 100円 (2)1日乗車券 300円 (3)運賃の免除について ・未就学児 ・障害者手帳(3種)所持者及びその介助・付添人1人 ・運転免許を自主返納した70歳以上の市民</p>	<p>A 計画どおりに事業が開始され、順調に運行されている。</p>	<p>【利用者数】 《目標》 平成23年度(H23.10.1～H24.3.31) 6ヶ月間10,500人(4ヶ月間7,000人) 1便(往復)当り9.7人</p> <p>《実績》 平成24.1月末時点(H23.10.1からH24.1.31まで、120日間720便運行) 4ヶ月間6,463人 1便当り8.9人</p> <p>《考察》 まだ、途中経過であるが、有料の利用者数を比較すると、目標の92.3%の利用がある。定着しつつあり、新年度からの新規利用者に期待される。</p>	<p>【既の実施した利用促進策】 ・「江南地区路線」の愛称、イラストを公募し、新規車両の納車に合わせ、ラッピングを施工した。</p> <p>【今後の改善点】 ・江南地区の地元自治会と一緒に周知を行う。 ・「着ぐるみ」を活用し、ゆうゆうバスのPRを行う。</p>